

現代の経済

担当教員： 原田 裕治

履修年次・区分： 1～4年（共通－教養－社会と経済－選択）

授業のテーマ： 経済学の基本的な枠組みにもとづいて日本経済及び世界経済で見られる諸現象の意味を理解することを目的とする。まず、戦後日本経済の動きおよび世界経済の現状の説明、つづいて消費や投資といった経済動態の基本要素に始まり、最近の経済を理解するうえで必要な金融や国際取引まで、マクロ経済学の基礎を解説しながら、それらを活用して現実の経済現象をどのように理解できるかについて考察する。

この日の授業内容： WEB 討論；社会保障の財源は消費税でまかなうべきか



グループごとに賛成派と反対派2人ずつ振り分けられ、WEB上で討論をします。自分自身の意見に関わらず、決められた立場からの意見を述べなくてはならないので、あらかじめしっかりとした準備が必要です。



この討論方法の利点は、文字で討論の記録が残ること、直接顔を見てのやり取りではないので意見が述べやすいこと、他の人の意見も参考にできること、など。学生たちは積極的に色々な意見を出していました。

(2014年7月取材)